

日本人海技者の確保に向けて 「第3回海事教育機関との連絡会」を開催

当協会は、2008年7月、「人材確保タスクフォース」を設置し、日本人海技者の確保に向け、各種活動を行っている。活動を行うに際しては、海事教育機関（東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海事科学部、富山商船高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校、海技教育機構）と連絡を密にし、ニーズを的確に捉えることとしており、このため連絡会を設置している。

今般、第3回連絡会を2009年8月27日に開催し、DVD制作や進学ガイダンスの実施等、これまでの活動について、その問題点や課題等も含め確認するとともに新たな活動等についての意見交換を行った。人材確保タスクフォース座長の林常勤副会長からは、「昨年秋以降の景気悪化に伴い船会社の経営は非常に厳しくなっているが、船員確保のための活動は引き続き地道に継続してまいりたい」旨挨拶があった。

当協会は今後も日本人海技者の確保に向け全力を注いでゆくこととしている。なお次第4回連絡会は2010年3月中下旬に開催する予定である。



挨拶する当協会林副会長



海技教育機関の先生方

(海務部:宇佐美)